## 小児看護学

■ 目標Ⅰ. 子どもの成長・発達と健康増進のための子どもと家族への看護について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
1 子どもと家	A 小児医療・小児看 護の変遷と課題	a 小児医療の変遷と 課題	小児看護学 [1] (小児看護学概論):第1章 C「小児看護の変遷」(p.15~18)
		b 小児看護の変遷と 課題	小児看護学[1](小児看護学概論):第 1 章 C「小児看護の変遷」(p.15~18)
子どもと家族を取り巻く環境		c 諸統計からみた子 どもと家族の健康 課題	小児看護学 [1] (小児看護学概論):第1章B「小児と家族の諸統計」(p.8~15)
く 環 境	B 子どもの権利	a 小児医療における 子どもの権利の変 遷	小児看護学[1](小児看護学概論):第 1 章 D-1「子どもの権利」(p.19)
		b 小児医療・小児看 護における倫理的 配慮	小児看護学 [1] (小児看護学概論):第 1 章 D「小児看護における倫理」(p.19〜 25)
		c 子どもの虐待防止	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論):第8章「子どもの虐待と看護」(p.494~510) 母性看護学 [1] (母性看護学概論):第6章 G「児童虐待と看護」(p.308~316) 公衆衛生:第8章 B-5「児童虐待防止のための母子保健活動」(p.217~220) 社会保障・社会福祉:第7章 C-4「児童虐待対策」(p.217~222) 看護関係法令:第7章 B-2-2「児童虐待の防止等に関する法律」(p.219)
	C 子どもと家族を取 り巻く社会資源の 活用	a 母子保健施策の活 用	小児看護学[1](小児看護学概論):第7章 B-2「現在の母子保健」(p.171~174)
		b 小児保健医療福祉 施策の活用	小児看護学 [1] (小児看護学概論):第8章 C「医療費の支援」(p.174~177)
2 子	A 子どもの成長・発 達の原則と影響因 子	a 成長・発達の概念	小児看護学 [1] (小児看護学概論):第2章A「成長・発達とは」(p.30~33) 心理学:第9章 A-1「発達の定義」(p.168)
子どもの成長		b 成長・発達の原則	小児看護学 [1] (小児看護学概論):第2章B「成長・発達の進み方(一般的原則)」(p.33~35) 心理学:第9章A-2「発達の一般的特徴」(p.168~169)
· 発 達		c 成長・発達に影響 する因子	小児看護学 [1] (小児看護学概論):第2章 C「成長・発達に影響する因子」(p. 35~36) 心理学:第9章 A-3「発達の要因」(p.172~173)
		d 発達課題と発達理 論	小児看護学 [1] (小児看護学概論):第2章 A「成長・発達とは」(p.30~33)、 B「成長・発達の進み方(一般的原則)」(p.33~35) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎):第3章 B-4「ライフサイクルとアイデン ティティ──エリクソンの漸成的発達理論」(p.97~102) 心理学:第9章 A-2「発達の段階と課題」(p.169~171)
	B 子どもの成長・発 達のアセスメント	a 形態的成長と機能 的発達の評価	小児看護学 [1] (小児看護学概論):第2章「子どもの成長・発達」(p.30〜51)、 各発達段階ごとに第3〜5章(p.53〜144)に収載
		b 身体発育の評価	小児看護学[1](小児看護学概論):第2章 D「成長の評価」(p.37~46)
		c 発達検査	小児看護学[1](小児看護学概論):第2章E「発達の評価」(p.46~51)
		d 心理・社会的発達 の評価	小児看護学 [1] (小児看護学概論):第3章 B-7「情緒・社会的機能」(p.77~78)、第4章 A-7「情緒・社会的機能」(p.96~101)、B-4「知的・情緒機能」(p.111~113)、B-5「社会的機能」(p.113~115)、第5章3「知的・情緒(心理)的・社会的機能」(p.127~130)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		e 養育環境	小児看護学 [1] (小児看護学概論):第3章 B-8「乳児の養育および看護」(p.78~90)、第4章 A-8「幼児の養育および看護」(p.101~108)、B-7「学童を取り巻く諸環境」(p.116~117)、B-8「学童の養育および看護」(p.117~122)、第5章 10「思春期の看護」(p.139~144)
	C 小児期における成 長・発達の特徴と 看護	a 神経系	<mark>小児看護学[1](小児看護学概論</mark> ):第3章 A-2-9「神経系」(p.64~65)、B-2 「身体生理の特徴」(p.72)、第4章 A-2「身体生理の特徴」(p.92~93)、B-2 「身体生理の特徴」(p.110~111)
		b 運動器系	小児看護学 [1] (小児看護学概論):第3章 B-4「運動機能」(p.73~76)、第4章 A-4「運動機能」(p.93)、B-3「感覚・運動機能」(p.110~111)
		c 感覚器系	小児看護学 [1] (小児看護学概論):第3章 B-3「感覚機能」(p.72~73)、第4 章 A-3「感覚機能」(p.92)、B-3「感覚・運動機能」(p.110~111)
		d 循環器系	小児看護学 [1] (小児看護学概論):第 3 章 A-2-2「循 環」(p. 58~60)、B-2「身体生理の特徴」(p.72)、第 4 章 A-2「身体生理の特徴」(p.92~93)、B-2「身体生理の特徴」(p.110~111)
		e 免疫系	小児看護学 [1] (小児看護学概論):第3章 A-2-8「免疫」(p.64)、B-2「身体生理の特徴」(p.72)、第4章 A-2「身体生理の特徴」(p.92∼93)、B-2「身体生理の特徴」(p.110∼111)
		f 呼吸器系	小児看護学 [1] (小児看護学概論):第 3 章 A-2-1「呼 吸」(p. 54~58)、B-2 「身体生理の特徴」(p.72)、第 5 章 A-2「身体生理の特徴」(p.92~93)、B-2 「身体生理の特徴」(p.110~111)
		g 消化器系	<mark>小児看護学[1](小児看護学概論</mark> ):第3章 A-2-4「消化器」(p.60~61)、B-2 「身体生理の特徴」(p.72)、第5章 A-2「身体生理の特徴」(p.92~93)、B-2 「身体生理の特徴」(p.110~111)
		h 代謝系	小児看護学 [1] (小児看護学概論):第3章 A-2-5「体液の生理」(p.61~62)、 B-2「身体生理の特徴」(p.72)、第5章 A-2「身体生理の特徴」(p.92~93)、 B-2「身体生理の特徴」(p.110~111)
		i 泌尿器系	小児看護学 [1] (小児看護学概論):第3章 A-2-5「体液の生理」(p.61~62)、 B-2「身体生理の特徴」(p.72)、第5章 A-2「身体生理の特徴」(p.92~93)、 B-2「身体生理の特徴」(p.110~111)
		j 体温調節	小児看護学 [1] (小児看護学概論):第3章 A-2-3「体温」(p.60)、B-2「身体生理の特徴」(p.72)、第5章 A-2「身体生理の特徴」(p.92∼93)、B-2「身体生理の特徴」(p.110∼111)
		k 大泉門、小泉門	小児看護学[1](小児看護学概論):第3章B-1「形態的特徴」(p.71~72)
		I 生歯	小児看護学 [1] (小児看護学概論):第2章 D-3「生歯」(p.43~47)
		m 認知、思考	小児看護学 [1] (小児看護学概論):第3章 B-5「知的機能」(p.76~77)、第4章 A-5「知的機能」(p.94~95)、B-4「知的・情緒機能」(p.111~113)、第5章 3「知的・情緒(心理)的・社会的機能」(p.127~130)
		n 社会性、道徳性	小児看護学 [1] (小児看護学概論):第3章 B-7「情緒・社会的機能」(p.77~78)、第4章 A-7「情緒・社会的機能」(p.96~101)、B-5「社会的機能」(p.113~115)、第5章3「知的・情緒(心理)的・社会的機能」(p.127~130)
		o コミュニケーショ ン、言語	<b>小児看護学[1](小児看護学概論</b> ):第3章 B−6「コミュニケーション機能」(p. 77)、第4章 A−6「コミュニケーション機能」(p.95~96)、B−5「社会的機能」(p.113~115)、第5章3「知的・情緒(心理)的・社会的機能」(p.127~130)
		p 情緒	小児看護学 [1] (小児看護学概論):第3章 B-7「情緒・社会的機能」(p.77~78)、第4章 A-7「情緒・社会的機能」(p.96~101)、B-5「社会的機能」(p.113~115)、第5章3「知的・情緒(心理)的・社会的機能」(p.127~130)
		q アタッチメント、 分離不安	小児看護学 [1] (小児看護学概論):第3章 B-7-1「愛着形成」(p.77~78) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎):第3章 B-5「愛着と心の安全の基地――ボ ウルビーの愛着理論」(p.102~107) 心理学:第9章 B-3-1「愛着の形成」(p.179~181)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
3 3	A 新生児期の成長・ 発達に応じた生活 への支援	a 栄養と授乳	小児看護学 [1] (小児看護学概論):第3章 B-8-a-1「食事の世話」(p.80~87) 栄養学:第8章 A「乳児期における栄養」(p.152~156)
小児各期における健康増進のための子どもと家族への看護		b 事故防止	小児看護学 [1] (小児看護学概論):第3章 A-4-2「事故防止」(p.69~70) 小児看護学 [2] (小児臨床看護各論):第19章 A-2「子どもの発達段階に応じ た事故防止」(p.521~523)
げる健康増進		c 親子関係の確立	小児看護学 [1] (小児看護学概論):第3章 A-4-5「愛着形成」(p.70) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎):第3章 B-5「愛着と心の安全の危機」(p. 102~107)
進のためので		d 家族の育児技術の 獲得	小児看護学 [1] (小児看護学概論):第3章 A-4「新生児の養育および看護」(p. 65~71) 家族看護学:第2章 C-1「家族の育児機能」(p.45~51)
丁どもと	B 乳児期の成長・発 達に応じた生活へ	a 栄養と離乳	小児看護学 [1] (小児看護学概論):第3章 B-8-a-1「食事の世話」(p.80~87) 栄養学:第8章 A「乳児期における栄養」(p.152~156)
族へ	の支援	b 運動と遊び	小児看護学 [1] (小児看護学概論):第4章 B-8-b「遊びの支援」(p.89)
の看護		c 感染予防と予防接 種	<ul> <li>小児看護学 [1] (小児看護学概論):第7章 D-2「現在の予防接種」(p.179~182)</li> <li>小児看護学 [2] (小児臨床看護各論):第6章 A-1「子どもの感染に関する基本的知識」(p.140)、A-3「感染症をもつ子どもの看護のポイント」(p.141~143)</li> <li>看護関係法令:第4章 C-3「予防接種法」(p.155~158)</li> </ul>
		d 事故防止	小児看護学 [1] (小児看護学概論):第3章 B-8-c「事故防止」(p.89) 小児看護学 [2] (小児臨床看護各論):第19章 A-2「子どもの発達段階に応じ た事故防止」(p.521~523)
		e 親子関係の確立	小児看護学 [1] (小児看護学概論):第3章 A-4-5「愛着形成」(p.70) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎):第3章 B-3「よい乳房・わるい乳房――対 象関係論」(p.91~96)、5「ボウルビーの愛着理論」(p.92~96)
		f 家族の育児技術の 獲得	小児看護学 [1] (小児看護学概論):第3章 B-8「乳児の養育および看護」(p.78~90) 家族看護学:第2章 C-1「家族の育児機能」(p.45~51)
	C 幼児期の成長・発達に応じた生活への支援	a 食生活と食育	小児看護学 [1] (小児看護学概論):第4章 A-8-1「日常生活の自立と世話」(p. 101~105) 栄養学:第8章 B「幼児期における栄養」(p.157~158)
		b 運動と遊び	小児看護学 [1] (小児看護学概論):第4章 A-8-2「遊びと運動の支援」(p.106)
		c 生活リズムの確立	小児看護学 [1] (小児看護学概論):第4章 A-8-1「日常生活の自立と世話」(p. 101~105)
		d 基本的生活習慣の 確立	小児看護学 [1] (小児看護学概論):第4章 A-8-1「日常生活の自立と世話」(p. 101~105)
		e 感染予防と予防接 種	<ul> <li>小児看護学 [2] (小児臨床看護各論):第6章 A-1「子どもの感染に関する基本的知識」(p.140)、A-3「感染症をもつ子どもの看護のポイント」(p.141~143)</li> <li>看護関係法令:第4章 C-3「予防接種法」(p.155~158)</li> </ul>
		f 事故防止と安全教 育	小児看護学 [1] (小児看護学概論):第4章 A-8-3「事故防止」(p.106~107) 小児看護学 [2] (小児臨床看護各論):第19章 A-2「子どもの発達段階に応じ た事故防止」(p.521~523)
		g 親子関係の確立	<ul> <li>小児看護学 [1] (小児看護学概論):第4章 A-7-1「愛着形成と分離不安」(p. 96)</li> <li>精神看護学 [1] (精神看護の基礎):第3章 B-3「よい乳房・わるい乳房──対象関係論」(p.91~96)、5「ボウルビーの愛着理論」(p.92~96)</li> </ul>
		h 社会化	
		i 育児技術の獲得	

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
	D 学童期の成長・発 達に応じた生活へ	a 肥満や食生活の乱 れ	小児看護学 [1] (小児看護学概論):第4章 B-2「食生活」(p.118~119) 栄養学:第8章 C「学童期における栄養」(p.158~163)
	の支援	b う歯の予防	小児看護学 [1] (小児看護学概論):第4章 B-8-5「疾病予防」(p.121) 公衆衛生:第8章 F-4-2「学齢期の齲歯予防」(p.289~290)
		c 近視の予防	小児看護学[1](小児看護学概論):第 4 章 B-8-5「疾病予防」(p.121)
		d スポーツ外傷の予 防	小児看護学[1](小児看護学概論):第 4 章 B-8-4「生活習慣病の予防」(p.119 ~121)、B-8-6「安全教育・事故予防」(p.121)
		e 学校感染症の予防	小児看護学 [2] (小児臨床看護各論):第6章 A-1「子どもの感染に関する基本的知識」(p.140)、A-3「感染症をもつ子どもの看護のポイント」(p.141~143) 公衆衛生:第9章 B-2「感染症の予防と対策」(p.328~329) 看護関係法令:第4章 B-4「学校保健安全法」(p.136~137)
		f 生活習慣病の予防	小児看護学 [1] (小児看護学概論):第4章 B-8-4「生活習慣病の予防」(p.119~121) 栄養学:第8章 C「学童期における栄養」(p.158~163)
		g 学習と遊び	小児看護学 [1] (小児看護学概論):第4章 B-8-3「学習と遊び」(p.119) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎):第3章 B-4-5「遊びとユーモア」(p.99~ 100)
		h 事故防止と安全教 育	小児看護学 [1] (小児看護学概論):第4章 B-8-6「安全教育・事故予防」(p. 121) 小児看護学 [2] (小児臨床看護各論):第19章 A-2「子どもの発達段階に応じた事故防止」(p.521~523)
		i セルフケアと保健 教育	小児看護学 [1] (小児看護学概論):第 4 章 B-8「学童の養育および看護」(p. 117~122)
		j 食生活と食育	小児看護学[1](小児看護学概論):第4章 B-2「食生活」(p.118~119) 栄養学:第8章 C「学童期における栄養」(p.158~163)
		k 仲間との関係や学 校への適応	小児看護学[1](小児看護学概論):第 4 章 B-8-1「学校生活への適応」(p.117 ~118)
	E 思春期の成長・発 達に応じた生活へ の支援	a 体格と体力	小児看護学 [1] (小児看護学概論):第5章1「形態的特徴」(p.124~125)
		b 第二次性徴	小児看護学 [1] (小児看護学概論):第5章2「身体生理の特徴」(p.125~127)
		c アイデンティティ の確立	小児看護学 [1] (小児看護学概論):第5章3-3「自我発達」(p.128~129) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎):第3章 B-4-6「アイデンティティを求める たたかいとモラトリアム」(p.100~101)
		d 情緒的変化と家族 関係	小児看護学 [1] (小児看護学概論):第5章 3-2「情緒的発達」(p.128)、3-4 「社会性の発達」(p.129~130)
		e 仲間との関係	小児看護学 [1] (小児看護学概論):第5章 3-2「情緒的発達」(p.128)、3-4 「社会性の発達」(p.129~130)
		f 性〈セクシュアリ ティ〉意識の変化 と逸脱行動	小児看護学 [1] (小児看護学概論):第5章3-5「性的傾向」(p.130)、8-4「性の逸脱行動」(p.139) 公衆衛生:第8章B-6-1「思春期保健対策」(p.221)
		g 異性への関心	小児看護学 [1] (小児看護学概論):第5章3-5「性的傾向」(p.130)
		h ライフスタイルと 生活リズムの変化	小児看護学 [1] (小児看護学概論):第5章4「生活の特徴」(p.130~132)
		i 喫煙・飲酒の防止	小児看護学[1](小児看護学概論):第5章6「飲酒・喫煙」(p.136~137)
		j 不登校の実態と支 援	小児看護学 [1] (小児看護学概論):第5章5-3「不登校」(p.135)、10「思春期の支援」(p.139~144) 精神看護学 [2] (精神看護の展開):第10章 D-1-2「学校における児童・生徒のメンタルヘルス上の課題」(p.179~182)、3-2「チームとしての学校の実践事例」(p.183~185) 公衆衛生:第9章 B-4-2「不登校」(p.332)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		k いじめ・校内暴力 の防止	小児看護学 [1] (小児看護学概論):第5章5-2「いじめ」(p.134~135)、8-3「暴力行為」(p.138)、10「思春期の看護」(p.139~144) 精神看護学 [2] (精神看護の展開):第10章 D-1-2「学校における児童・生徒のメンタルヘルス上の課題」(p.179~182) 公衆衛生:第9章B-4-1「いじめ」(p.331~332) 看護関係法令:第7章B-2-4「いじめ防止対策推進法」(p.219~220)
		I 自殺の防止	小児看護学 [1] (小児看護学概論):第5章5-1「自殺」(p.133~134)、10「思春期の看護」(p.139~144) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎):第7章F-1「自殺対策」(p.361~363) 精神看護学 [2] (精神看護の展開):第10章D-3-2「チームとしての学校の実践事例」(p.183~185)、第13章B-2-5「自殺を防ぐケア」(p.328~331) 看護関係法令:第4章B-5-1「自殺対策基本法」(p.138)

## ■ 目標Ⅱ. 病気や診療・入院が子どもと家族へ与える影響と看護について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
4 病気や診療・入院が子どもと家族に与える影響と看護	A 病気に対する子ど もの理解と説明	a 病気に対する子ど もの理解の特徴	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論):第1章 A-1-1「病気・障害の受けとめ、 理解」(p.196∼197)
		b 子どもの理解に関 係する要因	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論):第1章 A-2「子どもの病気・障害に対する家族の反応」(p.199∼202)
入院が		c 発達に応じた病気 の説明	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論):第1章 B-2「子どもの治療・健康管理にかかわる看護」(p.202~206)
子どもに		d インフォームド・ アセント	<mark>小児看護学[1](小児臨床看護総論</mark> ):第 1 章 B−2−2「治療における意思決定の 支援」(p.204~205)
家族に	B プレパレーション	a 子どもへの説明と 同意	<mark>小児看護学[1](小児臨床看護総論</mark> ): 第 1 章 B−2−2「治療における意思決定の 支援」(p.204~205)
<del>与</del> える影		b 家族の準備状態の 把握	<mark>小児看護学[1](小児臨床看護総論</mark> ):第1章 A-2「子どもの病気・障害に対す る家族の反応」(p.199∼202)
響と看護		c 検査・処置を受け る子どもと家族へ の支援	<b>小児看護学[1](小児臨床看護総論</b> ):第1章 B−2「子どもの治療・健康管理にかかわる看護」(p.202~206)
	C 病気や診療・入院 が子どもに与える 影響と看護	a 成長・発達に及ぼ す影響	<mark>小児看護学[1](小児臨床看護総論</mark> ):第1章 A「病気・障害が子どもと家族に 与える影響」(p.196∼202)
		b 病気や診療・入院 に伴うストレスと 影響要因	<mark>小児看護学[1](小児臨床看護総論</mark> ):第 1 章 A−1−2「病気・治療に伴うストレス」(p.197~198)
		c 子どもの反応とストレス対処行動	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論):第 1 章 A−1−3「ストレスに対する反応・ 対処」(p.198~199)
	D 子どもの病気や診療・入院がきょうだい・家族に及ぼす影響と看護	a 子どもの病気や診療・入院に伴う きょうだい・家族 のストレス	<mark>小児看護学[1](小児臨床看護総論</mark> ):第 1 章 A−2「子どもの病気・障害に対す る家族の反応」(p.199~202)
		b きょうだい・家族 のストレスへの支 援	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論):第1章 B-4「健康問題をもつ家族の看護」(p.208~209) 家族看護学:第5章 D「先天奇形をもつ児の家族看護」(p.227~236)
	E 痛みを表現してい る子どもと家族へ	a 子どもの痛みの受 け止め方	小児看護学[1](小児臨床看護総論):第 5 章 3-1「子どもの痛み」(p.345〜347)
	の看護	b 痛みの表現方法	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論):第5章3「痛み」(p.345~353)
		c 痛みの客観的評価	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論):第 5 章 3-2「痛みを伴う子どもの看護」 (p.347~353)
		d 痛みの緩和に向け た援助	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論): 第5章 3-2「痛みを伴う子どもの看護」 (p.347~353)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
	F 活動制限が必要な 子どもと家族への	a 活動制限の目的	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論):第1章「病気・障害をもつ子どもと家族 の看護」(p.196~209)
	看護	b 活動制限の身体 的・心理社会的影 響	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論):第 1 章「病気・障害をもつ子どもと家族の看護」(p.196~209)
		c 子どもの発達に応 じた日常生活への 援助	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論):第1章「病気・障害をもつ子どもと家族の看護」(p.196~209)
	G 感染対策上隔離が 必要な子どもと家	a 隔離の目的・方法	小児看護学 [2] (小児臨床看護各論):第6章 A-3-2「隔離の考え方」(p.141〜142)
	族への看護	b 隔離の身体的・心 理社会的影響	小児看護学[2](小児臨床看護各論):第6章 A-3-2「隔離の考え方」(p.141~ 142)
		c 子どもの発達に応 じた日常生活への 援助	小児看護学 [2] (小児臨床看護各論):第6章 A-3-3「感染症の子どもの基本的看護」(p.142∼143)
		d 家族の面会や付き 添いにおける援助	小児看護学 [2] (小児臨床看護各論):第6章 A-3-3「感染症の子どもの基本的看護」(p.142∼143)
	H 外来における子ど もと家族への看護	a 外来における緊急 度の把握・トリ アージ	<mark>小児看護学[1] (小児臨床看護総論</mark> ):第 2 章 B-4「外来における子どもと家族 の看護」 (p.226~228)
		b 外来における感染 症対策	小児看護学[1](小児臨床看護総論):第2章 B-2「外来の環境」(p.224)
		c 受診時の子どもと 家族の緊張と不安 の軽減	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論):第2章 B−4「外来における子どもと家族の看護」(p.226~228)
		d 健康診査・育児相 談	<mark>小児看護学[1](小児臨床看護総論</mark> ):第2章 B−3「外来を受診する子どもと家族の特徴」(p.225~226)
5 検	* a ~ l に共通する中 項目 A 診療(検査、 処置)に伴う 技術と看護 B プレパレー	a バイタルサインの 測定	<mark>小児看護学[1](小児臨床看護総論</mark> ):第 4 章 A−2「バイタルサイン」(p.287~ 296)
かり		b 身体計測	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論):第4章 A-3「身体測定」(p.296~302)
置を		c 採血	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論):第6章 C-4-3「採血」(p.446~449)
受ける	ションと看護	d 採尿	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論):第6章 C-4-1「採尿」(p.441~445)
。 子 ど		e 骨髄穿刺	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論):第6章 C-4-4「骨髄穿刺」(p.449~453)
もと家		f 腰椎穿刺	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論):第6章 C-4-5「腰椎穿刺」(p.453~456)
族へ		g 与薬	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論):第6章 C−1「与薬」(p.420~431)
処置を受ける子どもと家族への看護		h 注射	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論):第6章 C-1-4「注射」(p.426~431)
		i 輸液療法	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論):第6章 C-2「輸液管理」(p.432~439)
		j 吸引	<b>小児看護学</b> [1](小児臨床看護総論):第6章 C-9-1「鼻腔・口腔・咽頭内吸引」(p.463~465)、C-9-2「気管内吸引」(p.466~467)
		k 酸素療法	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論):第6章 C-9-3「酸素療法」(p.467~469)
		I 経管栄養	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論):第6章 C-7「経管栄養」(p.458~459)

## ■ 目標Ⅲ. 特別な状況にある子どもと家族への看護について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
6 特	A 虐待を受けている 子どもと家族への 看護	a 子どもへの虐待の 特徴	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論):第8章「子どもの虐待と看護」(p.494~510)
特別な状況にある子どもと家族		b 虐待のリスク要因 と虐待の早期発見	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論):第8章3「リスク要因と発生予防・早期発見」(p.502~504) 公衆衛生:第8章B-5「児童虐待防止のための母子保健活動」(p.217~220) 看護関係法令:第7章B-2-2「児童虐待の防止等に関する法律」(p.219)
		c 虐待の未然防止に 向けての支援	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論):第8章3「リスク要因と発生予防・早期発見」(p.502~504) 公衆衛生:第8章 B-5「児童虐待防止のための母子保健活動」(p.217~220) 看護関係法令:第7章 B-2-2「児童虐待の防止等に関する法律」(p.219) 家族看護学:第2章 D-2-2「子育て家族がかかえる問題」(p.81~83)
への看護		d 多機関・多職種の 連携・協働	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論):第8章「子どもの虐待と看護」(p.494~510) 看護関係法令:第7章 B-2-2「児童虐待の防止等に関する法律」(p.219)
	B 災害を受けた子ど もと家族への看護	a 災害による子ども への影響とストレ ス	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論):第2章 D「災害時の子どもと家族の看護」(p.239~245) 看護の統合と実践 [3] (災害看護学・国際看護学):第2章 E-1「子どもに対する災害看護」(p.143~148)
		b 災害を受けた子ど もと家族への援助	<ul> <li>小児看護学 [1] (小児臨床看護総論):第2章 D「災害時の子どもと家族の看護」(p.239~245)</li> <li>看護の統合と実践 [3] (災害看護学・国際看護学):第2章 E-1「子どもに対する災害看護」(p.143~148)</li> </ul>
		c 災害時における緊 急度の把握・トリ アージ	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論):第2章 D「災害時の子どもと家族の看護」(p.239~245) 看護の統合と実践 [3] (災害看護学・国際看護学):第2章 B-3-3「トリアージ」(p.39~46)、E-1「子どもに対する災害看護」(p.143~148)

## 目標Ⅳ.健康課題をもつ子どもと家族への看護について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
7 急性#	A 急性症状のある子 どもと家族への看 護	a 急性的な経過をた どる疾患の特徴と 治療	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論):第3章B「急性期にある子どもと家族の看護」(p.252~256)
がにあ		b 発熱	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論):第5章9「発熱」(p.377~383)
る子に		c 脱水	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論):第5章13「脱水」(p.391~397)
急性期にある子どもと家族		d 下痢・嘔吐	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論):第5章10「嘔吐」(p.383~385)、11「下 痢」(p.385~388)
^		e 呼吸困難	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論):第5章4「呼吸困難」(p.353~356)
の看護		f けいれん	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論):第5章8「痙攣」(p.371~377)
	B 救急救命処置が必 要な子どもと家族 への看護	a 子どもの救急にお けるトリアージと 対応	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論):第2章 B-4「外来における子どもと家族の看護」(p.226~228)、第6章 C-10「救命処置」(p.471~477)
		b 子どもの意識レベ ル	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論):第5章7-3「意識障害を伴う子どもの看護」(p.365~371)
		c 主な誤飲物質と処 置	小児看護学 [2] (小児臨床看護各論):第 19 章 B-3「誤飲・誤嚥」 (p.525~527)
		d 子どもの熱傷の特 徴・重症度および 処置	小児看護学 [2] (小児臨床看護各論):第 19章 B-5「熱傷」(p.528~531)
		e 溺水と処置	小児看護学 [2] (小児臨床看護各論):第 19章 B-4「溺水」(p.527~528)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		f 子どもの一次救命 処置	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論):第6章 C-10「救命処置」(p.471~477) 救急看護学:第5章 A-3「小児の心肺蘇生」(p.178~181)
		g 生命が危険な状況 にある子どもと家 族への援助	<mark>小児看護学[1](小児臨床看護総論</mark> ):第3章D「終末期にある子どもと家族の 看護」(p.269~281)
	C 周手術期における 子どもと家族への	a 子どもの手術の特 徴	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論):第3章 C-1-1「小児期の手術の特徴」(p. 257)
	看護	b 手術を要する健康 障害と手術の時期	小児看護学[1](小児臨床看護総論):第3章 C-1「周手術期の特徴」(p.257~ 259)
		c 計画手術、緊急手 術	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論):第3章 C-1-1「小児期の手術の特徴」(p. 257)
		d 日帰り手術	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論):第3章 C「周手術期の子どもと家族の看護」(p.256∼268)
		e 子どもと家族の術 前準備	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論):第 3 章 C-2-1「術前の看護」(p. 259~ 265)
		f 子どもの安全・安 楽への援助	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論):第3章 C-2「子どもと家族の看護」(p. 259~268)
		g 手術中・手術直後 の家族への援助	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論):第3章 C-2「子どもと家族の看護」(p. 259~268)
		h 手術後の身体状態 のアセスメントと 援助	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論):第3章 C-2-2「術後急性期の看護」(p. 265~268)
		i 退院に向けての援助	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論):第 3 章 C-2-3「術後回復期の看護」(p. 268)
	D 出生直後から集中 治療が必要な子ど もと家族への看護	a ハイリスク新生児 の特徴	小児看護学 [2] (小児臨床看護各論):第2章「新生児の看護」(p.18〜64)
		b 集中治療における 援助	小児看護学 [2] (小児臨床看護各論):第2章「新生児の看護」(p.18〜64)
		c 親子・家族関係確 立への支援	小児看護学 [2] (小児臨床看護各論):第2章「新生児の看護」(p.18〜64)
8 慢性	A 慢性疾患をもつ子 どもと家族への看 護	a 慢性的な経過をた どる疾患の特徴と 治療	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論):第3章 A-1「慢性期の特徴」(p.248~249)
慢性的な疾患・障害がある子どもと家族への看護		b 小児慢性特定疾患 治療研究事業	小児看護学 [1] (小児看護学概論):第7章 C-2「小児慢性特定疾病医療費助成制度」(p.174~176) 公衆衛生:第8章 B-2-表 8-3「乳幼児を対象とする公費負担医療の例」(p. 212)、G-3-5「医療支援」(p.307~309) 社会保障・社会福祉:第3章 F「公費負担医療」(p.82~83)、第7章 C-2-2「●小児慢性特定疾患治療研究事業」(p.211)
る子どもと家		c 疾患による子ども と家族の生活の変 化	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論):第3章A「慢性期にある子どもと家族の 看護」(p.248~251)
%族への看護		d 学習支援、復学支 援	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論):第3章 A「慢性期にある子どもと家族の看護」(p.248~251) 公衆衛生:第9章 C「特別な支援を必要とする子どもたち」(p.333~335)
		e 発達に応じたセル フケア能力の獲得	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論):第3章 A「慢性期にある子どもと家族の 看護」(p.248∼251)
		f セルフケア能力の 獲得のための養育 と家族への支援	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論):第3章 A「慢性期にある子どもと家族の 看護」(p.248~251) 家族看護学:第5章 B「慢性期の小児患者の家族看護」(p.200~211)
		g 地域との連携・調 整	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論):第3章A「慢性期にある子どもと家族の 看護」(p.248~251)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
	B 先天性疾患のある 子どもと家族への 看護	a 先天異常の種類と 特徴	<mark>小児看護学[2](小児臨床看護各論</mark> ):第1章「染色体異常・胎内環境により発症する先天異常と看護」(p.2~15)、第8章 B-2「先天性心疾患」(p.196~205)
		b 子どもの発達段階 に応じた援助	小児看護学 [2] (小児臨床看護各論):第↑章「染色体異常・胎内環境により発症する先天異常と看護」(p.2∼15)
		c 子どもの疾患に対 する家族の理解と 受容	小児看護学 [2] (小児臨床看護各論):第1章「染色体異常・胎内環境により発症する先天異常と看護」(p.2~15) 家族看護学:第5章 D「先天奇形をもつ児の家族看護」(p.227~236)
		d 養育とケア技術獲 得に関する家族へ の援助	小児看護学 [2] (小児臨床看護各論):第1章「染色体異常・胎内環境により発症する先天異常と看護」(p.2~15) 家族看護学:第5章D「先天奇形をもつ児の家族看護」(p.227~236)
	C 心身障害のある子 どもと家族への看 護	a 心身障害の定義と 種類	小児看護学 [2] (小児臨床看護各論):第18章 B-2「発達障害(神経発達症群)」 (p.498~501) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎):第3章 A-4-3「知的能力の障害と生活上の 問題」(p.69~70)、第5章 C-6-1「知的能力障害∕知的発達障害」(p.208~ 209)
		b 家族と子どもの障 害の受容	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論):第1章「病気・障害をもつ子どもと家族 の看護」(p.196~209)
		c 重症心身障害児と 家族	小児看護学 [2] (小児臨床看護各論):第 13章 C-2「脳性麻痺の子どもの看護」 (p.403~408)
		d 医療的ケアの必要 な超重症児と家族	小児看護学 [2] (小児臨床看護各論):第 13章 C-2「脳性麻痺の子どもの看護」 (p.403~408)
		e 発達障害児と家族	小児看護学 [2] (小児臨床看護各論):第 18 章 B-2「発達障害(神経発達症群)」 (p.498~501)、C-3「発達障害をもちながら、ほかの疾患の療養が必要な子ど もの看護」(p.516~517) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎):第 10 章 D-4-1「発達障害と特別支援教育」 (p.185~186)
	D 医療的ケアを必要 として退院する子 どもと家族への看 護	a 入院生活から在宅 への移行に向けた 支援	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論): 第2章 A−3−3「退院後や将来を見すえた 看護」(p.222~223)
		b 多職種との連携と 社会資源の活用	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論):第2章 A-3-3「退院後や将来を見すえた 看護」(p.222~223)、C-1「在宅療養の環境と看護の役割」(p.229~231)
		c 在宅療養中の子ど もと家族	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論):第2章 C-2「在宅療養中の子どもと家族の特徴」(p.231)
		d 子どものセルフケ ア行動の促進	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論):第2章 C-3「在宅療養中の子どもと家族の看護」(p.231~239)
9 終	A 子どもの死の理解 と看護	a 子どもの死の概念	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論):第3章 D-2「子どもの生命・死のとらえ 方」(p.272~273)
末 期 に あ		b 死に対する子ども の反応	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論):第3章 D「終末期にある子どもと家族の 看護」(p.269~281)
る子どもと家族	終末期にある子どもと家族への看護	a 終末期にある子ど もの心身の状態と 緩和ケア	<mark>小児看護学[1](小児臨床看護総論</mark> ):第3章 D-3「子どもと家族の看護」(p. 274~280) 緩和ケア:第6章 A-1「小児」(p.152~158)、第6章 A-2「思春期・若年成人 (AYA 世代)」(p.159~165)
族への看護 (である)		b 子どもの死を看取 る家族の反応	小児看護学 [1] (小児臨床看護総論):第3章 D-3「子どもと家族の看護」(p. 274~280) 緩和ケア:第8章「家族のケア」(p.236~254)